

葛飾区における子どもの権利保障の現状と課題

子ども・若者担当課

1 現状について

本区では、子どもの最善の利益が実現される「かつしか」を目指し、区全体で子どもの健やかな成長を支えていくため、令和5年10月に「葛飾区子どもの権利条例」を施行し、子どもの権利に関する普及啓発や、子どもの権利を保障するための様々な取組を推進してきた。

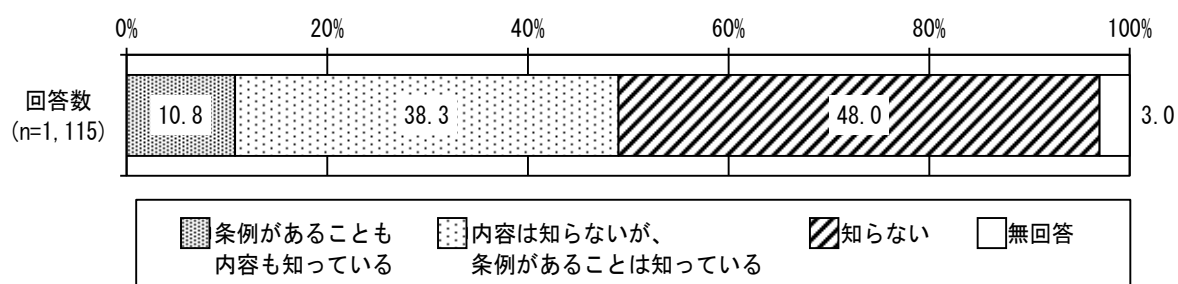
一方、令和8年度に実施した「子育て・若者に関するアンケート」では、葛飾区子どもの権利条例について、保護者の48.0%、若者（18歳から39歳まで）の76.8%が「知らない」と回答するなど、条例の認知が十分に広がっていない状況がみられた。なお、保護者・子ども・若者全体の認知度は41%であった。

また、家庭・学校・地域等における子どもの権利保障の状況についても、以下の結果となった。

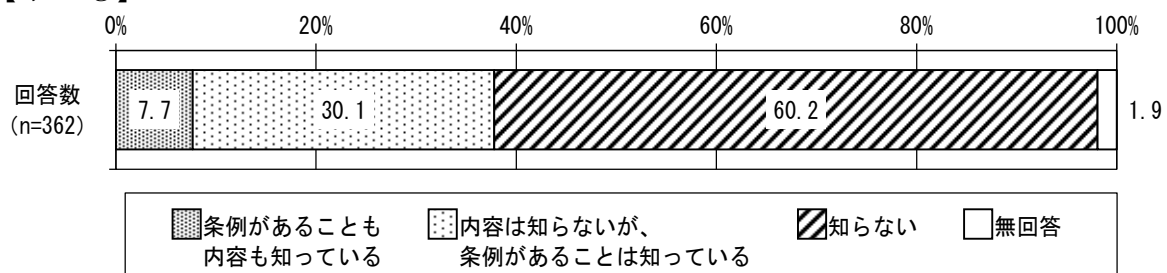
これらの結果を踏まえ、引き続き、子どもの権利保障の状況を検証するとともに、子どもの権利に関する理解を広げるための取組を進めていく必要がある。

<葛飾区子どもの権利条例を知っているか>

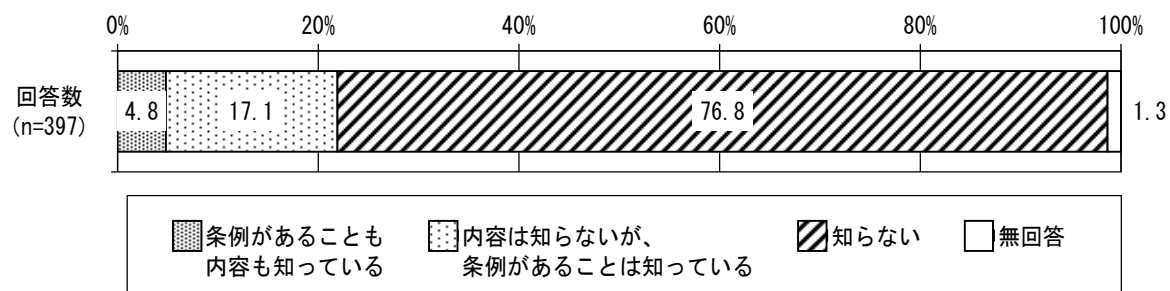
【保護者】



【子ども】

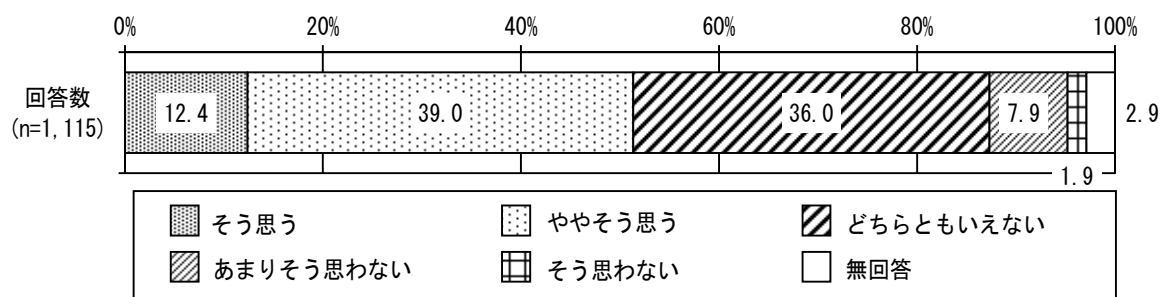


【若者】

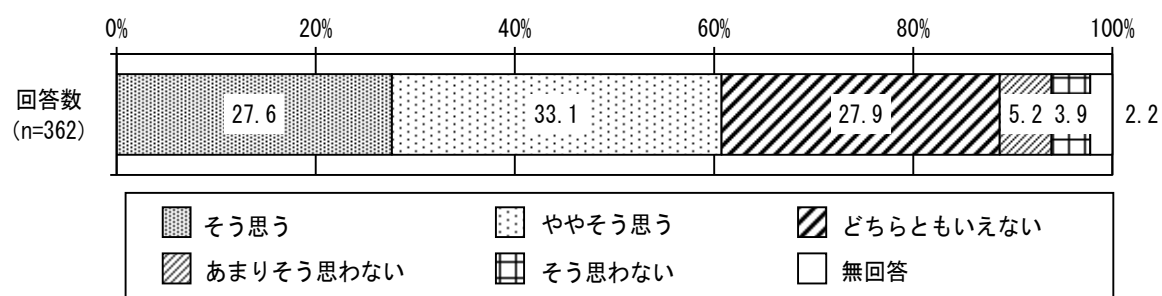


<家庭や学校、地域などで、子どもの権利が守られていると思うか>

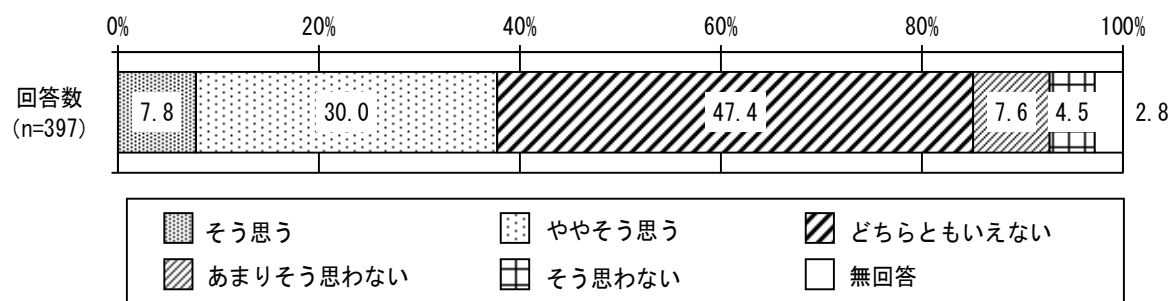
【保護者】



【子ども】



【若者】



令和8年度 子育て・若者に関するアンケートより

(調査期間：令和8年7月6日～7月24日)